



学 校 だ よ り

6 月 号

都 筑

令 和 4 年 5 月 3 1 日
横 浜 市 立 都 筑 小 学 校
校 長 井 上 由 美 子

学校HP <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/tsuzuki/>

「学ぼう つながろう やりとげる 都筑の子」

体験し「ひと・もの・こと」と関わって

校長 井上 由美子

初夏の日差しが学校のビオトープに降り注ぎ、ガマやハンゲショウが存在感をあらわしてきました。梅雨どきの雨をもらいながら植物は、ぐんぐん伸びていく時期です。

4月から2ヶ月が過ぎ、学校では様々な学習が始まっています。1年生はアサガオを植え、2年生は夏野菜の苗を植え、その生長を観察しています。「芽がでたよ。」と昨日からの変化を友達に伝えている子ども。「葉が大きくなった。」「葉の形が違う。」「友達のピーマンは花が咲きそう。」と、自分と他の人のものごとを比べて観察していました。生活科の学習は、ものに関わった気づきから「なぜだろう」「どうしたらよいか」と考え、深め解決していきます。3年生は、まち探検に行きました。自分たちが住んでいるまちの特徴を知り、まちや住んでいる人と関わりながらの学習が進んでいきます。5年生は、米作りマイスター（地域の人）に教えていただきながら、粳植えをしました。これからはばらく米作りマイスターと関わり、実際に稲作を体験して、米の栽培方法や様々な問題に気づき解決していく学習が進んでいきます。6年生は、日光修学旅行に行き、東照宮の見学を通して歴史に関心をもったり、ふくべ細工の体験をして面白さを感じたりしました。学校の中ではできない体験が、これからの学習につながり、さらなる問題解決学習の意欲になっていきます。本物を見る、触れる、体験するなどの活動があると、それを伝える表現も、わかりやすく伝えられるようになります。本物に触れ体験できる場を増やし、子どもの表現力や主体性を伸ばせるように支援していきたいと思います。

今年度、全学年に1教科以上の専科の授業を組み入れたり、学年の教員が一部の教科を分担して他のクラスの授業を行う教科分担制や交換授業にも取り組んだりしています。この取組は、教員の教科の専門性向上と指導力向上を図るとともに、子どもたちに複数の教員が関わり指導することができるので、子どもたちの心の安定にもつながっていくと考えられます。

感染予防対策をしながら「ひと・もの・こと」と関わる教育活動を充実させて、誰もが、安心して、楽しく学校生活ができるよう努力してまいります。

今後とも、教育活動へのご理解とご協力をお願いいたします。